

科目名 Course Name	経営学Ⅱ Business Administration II						
年次	1年	期別	後期	単位数	2単位	授業形態	講義
担当者氏名	長江 庸泰						
連絡先(質問等)	メールにて対応、オフィスアワー:本館2F(研究室 1)月～木曜 9:00～16:00(授業・会議時間を除く)						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2,DP3,DP5						
授業の概要と到達目標	<p>本授業は、企業が直面する社会問題を認識しながら、経営資源の有効な利活用とその経営戦略展開及びケース・スタディーを通じて、将来の自分のキャリア・アップを図りつつ、理論と応用力の学習を深める。</p> <p>①企業理念と行動原理に基づく、自己のキャリア形成を考える知識を習得できるようにする。                  ②現代企業の利益獲得行動を考察し、企業のあるべき姿に関する知識を習得できるようにする。                  ③現代企業の組織的形態とマネジメントに関する知識を習得できるようにする。                  ④国際的視野に立ち、必要な情報を収集・分析して自らの考えを説明できるようにする。</p>						
授業の方法	本授業は、講義、マルチメディア授業、デジタルテキスト、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワーク等を活用しながら、経営学に精通した人材育成を目指すものである。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	①企業理念と行動原理に基づく、自己のキャリア形成を考える知識を習得できる。 ②現代企業の利益獲得行動を考察し、企業のあるべき姿に関する知識を習得できる。 ③現代企業の組織的形態とマネジメントに関する知識を習得できる。 ④国際的視野に立ち、必要な情報を収集・分析して自らの考えを説明できる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	小テスト・期末試験等の解答を示し、結果は、メール等で個別にフィードバックする。						
教科書/参考図書	長江庸泰作成の“デジタルテキスト[経営学Ⅱ2020年度版]”を活用する。						
履修上の留意点やルール等	事前・事後学習各回180分、本学の教育理念(想う人、考える人、行う人を創る)を体現する自主創造の教えを基に、「1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ・学ぶ、課題解決型のアクティブラーニング」を常に心掛けること。						
担当教員の実務経験	●実務経験(職種:会社役員 職歴:40年)、実務経験を経営活動の実践面と学習・説明等で活用する。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	以下の3点から評価する:①ノートに関し、創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。S評価の基準:上記参加態度を全て満たすもの。			10	
レポート/作品	Sのレポートの評価:①創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に展開している、③課題の本質と学習成果が十分にまとめられている。レポート最新課題は、月1回計3回提出予定(締切は各月末)。			30	
発表	Sのレポート発表評価:①創意工夫した発表となっている、②自分の意見をまとめながら論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。			20	
小テスト	成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-			20	

佐野日本大学短期大学 2020 年度シラバス

	89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59				
<b>試験</b>	成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59			20	
<b>その他</b>	上記評価基準に基づき成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59				
<b>合 計</b>				100	

回数		授業計画
1	授業内容	授業ガイダンス:本授業の進め方と学び方/レポート課題説明と出題の解説、シラバスを読んでおき、各授業に関する質問事項等を考えておくこと。
	事前・事後学習	事前学習(上記質問事項等を準備しておくこと)・事後学習(ノートを整理しながら、自分で調べ・学ぶ姿勢を身につけること)。
2	授業内容	経営目標としての利潤性の追求(利潤にまつわる悪いイメージ、新しい利潤概念の出現)、ポジショニングとSTOW分析。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
3	授業内容	企業目標としての社会性の追求(新しい企業観出現の背景、新しい企業観と経営者)、成長・シェアマトリックス、経験曲線。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
4	授業内容	企業目標としての利潤性と社会性の関係、競争の戦略(ファイブ・フォース)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
5	授業内容	補完財の支援と脅威を理解する。ケース・スタディーで学習を深める①。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
6	授業内容	日本的企業の経営理念:長寿企業をモデル、バリュー・チェーン分析。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
7	授業内容	企業の利用する経営資源(経営資源とは、ヒト、モノ、カネ、情報、スピード、知恵)、イノベーション。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
8	授業内容	新たな経営資源の登場(企業文化、技術)、破壊的イノベーション、小テスト。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
9	授業内容	経営資源の問題領域と特徴(経営資源の獲得と分配、時代の変遷と経営資源の変化)、ケース・スタディーで学習を深める②。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
10	授業内容	企業の管理①(企業の管理、経営機能の分化)、学習する組織(SECIモデル)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
11	授業内容	企業の管理②(マネジメントの過程)、ケース・スタディーで学習を深める③。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
12	授業内容	企業の管理②(マネジメントの過程)、ケース・スタディーで学習を深める③
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
13	授業内容	企業における組織づくり①(企業における作業の分化、経営機能の分化、組織の原則)、経営資源の分析(VRIN framework)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
14	授業内容	企業における組織づくり②(企業における組織の基本的形態)、Business Model。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
15	授業内容	大企業における新しい組織形態。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。



